

中長期的視点から見た基本方策(案)

平成18年12月5日
産学連携WG 事務局

基本方策（マスタープラン）	基本方策に対する具体的施策
<p>『学術的・人材的資産の有効活用』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 他学会との協調、調査委員会等の会員のあり方など、広く電気学会会員の枠から拡大した活動を実施するとともに、人材を介した技術継承の機能強化を行う。 ■ 優れた電気技術者を確保する。 ■ 電気学会の学術資産（会誌、論文誌、全国大会・部門大会・研究会資料、技術報告書、教科書・専門書など）の効果的な蓄積と提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査専門委員会の学会会員比率の緩和、新たな部門設置基準の緩和等 ● 技術委員会への会員登録制度化 ● 調査委員会におけるオブザーバー制度の導入 ● 技術継承機能の構築（IEEJプロフェッショナルなどの有効活用）
<p>『将来を担う人材育成の強化』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学生会員、準員など若年層の参加しやすい環境を整え、若年層会員の活躍を促進する。 ■ 次代の電気技術をリードしうる技術者層を厚く育むための環境を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部門大会、研究会等での若手ポスターセッションの企画・運営 ● 学生会員の組織化、ネットワーク化 ● 学生向け会誌（学生委員による編集）の発行 ● 各技術委員会が企画する若手セミナーの支援 ● 教育活動の充実化 ● 会員ポイント制の設置（学会活動の貢献度に応じ優遇） ● 外部への表彰の新設（電気学会賞など）
<p>『社会のニーズに対応した情報発信』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学会の地位を学外にも高める有効な手段の構築強化を行い、一般への広報活動の充実化を図る。 ■ 分かり易く親しみ易い形で電気技術を伝え、社会のニーズを反映した活動と電気技術に関する基礎知識の向上に資する取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新聞等メディアの活用（最新技術・情報の積極的な発信） ● 学会（活動）紹介パンフ等の作成・配布（学生用、企業用など） ● 一般市民向け（中・高校生等）単行本の出版（平易な説明、新情報提供） ● 一般市民向け講演会・見学会の実施 ● 技術者に対する資格認定制度の設置・サポート ● J A B E E のサポート ● 電気技術者の活躍経路を PR（就職率の良さなど） ● 高校生等を対象とした作品コンテストへの積極的参画。
<p>『快適かつ効率的な手段や場の提供』</p> <p>➢ 蓄積された資産や新しい情報を自由かつタイムリーに収集・提供できる機能を構築することで、会員サービスの向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Web上での会員相互の会議室（意見交換・相談など）の提供 ● 学術資産のIT化（学会電子図書館など）と検索システムの構築 ● 電子投稿・査読システムの導入 ● ホームページの充実化（英語版含む）等

基本方策（マスタープラン）
<p>『健全な組織運営の再構築』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学会の基本使命と学会を取り巻く状況を踏まえた、学会組織・運営方針の継続的・戦略的改革を実現可能な新たな組織機構を導入する。 ■ 学会運営における集中機能と分散機能の抜本的見直し（部門・支部への更なる権限委譲，本部機能の精選・スリム化の実現） ■ 学会運営におけるIT技術の導入・維持・更新のための新たな担当部署の設置と，IT化を踏まえた学会組織・学会事務組織の統合とスリム化
<p>『国際化へのサポート体制の強化』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 論文誌の国際誌としての地位向上の強化を行う。 ■ 国際活動における金銭的・人的支援などの構築を行う。

基本方策に対する具体的施策
<ul style="list-style-type: none"> • 学会の将来ビジョンを理事会に直接提言できる，部門・支部横断的かつ機動的な委員会の継続的設置 • 各部門・各支部の特徴を活かした独自の活動を支援するための新たな学会規定の制定や既存の諸規定の見直し • 透明性かつ効率的な学会運営の強化を行う。（予算配分等） • IT技術に精通した新たな職員の雇用と活用 • 学会事務組織の大括り化と，重点分野への機動的かつ効率的な人員配置の実現
<ul style="list-style-type: none"> • 英文誌の創刊 • 国際編集委員会の組織の構築 • IEEE等、外国雑誌との提携 • 英文添削サポート体制の確立 • S C I登録 • 国際会議の金銭的サポート体制の構築（国際会議準備資金の貸与） • 国際会議支援事務局担当者の育成 • 標準規格（IEC）への活動強化 • 論文翻訳サポート機能の強化